

新しい教育戦略

獣医学教育空白地域「四国」に新しい獣医学部を創設

6つのコンセプトを用い、我が国そしてアジアをリードする新しい獣医学部を目指します。

1 国際水準の獣医学教育

多発する動物由来新興感染症の統制、家畜の越境感染症の防疫、拡大する食品
○ 貿易の安全確保、食料の安定供給など、新分野に対応できる獣医師が国内外で
求められている。

そのため、国際獣疫事務局（OIE）が獣医学教育に関するコアカリキュラムを
公表。日本も、それを反映させ獣医学教育コアカリキュラム（51科目、19実
習）を決める。

- 教育規模としては、本来、欧米の基準に適合できるカリキュラム実施に必要な教員数（72名程度）を確保します。

2 留学生の受け入れ

- 学部及び大学院で、アジア地域からの留学生を受け入れ、世界の食糧問題
○ の解決および種の多様性を含む環境問題、人獣共通感染症・新興再興感染
産の統制、諸感染症の防疫事業等に対処でき、国際調和に貢献する人材

(4) 文部科学省の動向について

（学園）文科省から獣医学教育の改善・充実にに関する調査研究協力
者会議委員に対する意見照会を実施している模様。

2/25に学園理事長と総理との面会時の学園提供資料のうち、「新しい教育戦略」（別紙p.5-6）に記載の目指すべき大学の姿に関する部分を抜粋したアンケート形式の資料を示して、短期間での回答を求めている。アンケート結果は、柳瀬首相秘書官との面会時に、学園に対し、情報提供されるものと推測。

なお、委員からの評判は概ね良いとの情報を得ている。